

就任のごあいさつ

町長 **大滝 敬貴**



新ひだか町誕生から20年目の節目に当たる本年4月、新ひだか町を本気で変えたいと願う多くの町民の皆さまからご支援をいただき、町長に就任させていただいた大滝敬貴です。

町民の皆さまの生命と財産を守るというその職責の重さをかみしめ、全力で職務遂行にあたっていききたいと考えております。

私の基本的な考え方は、町を豊かにする経済政策で財源を確保し、「人への投資」「未来への投資」「安心への投資」

という3つの投資を行なっていくというものです。この投資によって町はさらに豊かになり、さらなる投資ができる。そんな好循環を作りだしていきたいと思っています。

民間企業の方は日々、どうやって売り上げを伸ばすか、どうやって利益を上げるかと考えておられるでしょう。売り上げを伸ばし、利益を上げれば、商売をさらに大きくするための投資ができます。町政もそうしなければなりません。

私は、町内外で活躍されて

いる町出身の方や民間エコノミストなどをメンバーに加えた「新ひだか未来会議（仮称）」を立ち上げ、町民の皆さまにも参加していただきながら、町を豊かにするためのまちづくり戦略を構想していきたいと思っています。

そして財源を確保したら、最優先で取り組むのが「人への投資」です。若い人が住みたくなる町にするため、教育、子育て支援をさらに拡充します。学習環境を整備し、良い教師を育て、家庭の負担も軽くすることによって、全ての子どもに質の高い教育を提供します。子育て支援では、病気になる子どもを保育する病児・病後児保育の実現に取り組みます。いじめや不登校に対するサポート態勢も強化します。

2つ目は、「未来への投資」です。新ひだか町の強みである農林水産業や軽種馬産業をさらに伸ばすため、AI（人

工知能）など先端技術を活用したスマート農林水産業の推進や軽種馬特区の実現に取り組みます。弱点である2次、3次産業については、例えば食品加工や情報通信などターゲットを定め、企業誘致を図ります。

3つ目が、「安心への投資」です。2つの町立病院の立て直しを図り、新冠町や浦河町との広域連携も図りながら、安心できる医療態勢を構築していきます。同様に、安心できる介護態勢の実現にも取り組めます。子どもの通学路の安全確保や、子どもや高齢者を事故や犯罪から守る対策、いつ起きるかわからない地震・津波対策も強化します。

これらの政策を実行するに当たって、大切なのは町民の皆さまとの対話、そして説明責任を果たすことです。政治の基本は有権者の声を聞くこと。皆で意見を出し合い、皆で意見を聞き合う。その姿勢

を貫き、透明な町政を実現してまいります。

最後に、役場は行政サービスを提供するサービス業です。「お役所仕事」をする場所ではなく、町民のお役に立っている場所。そのような役場にしていきたいと思っています。また、コンプライアンス（法令遵守）やハラスメント対策も徹底し、女性が活躍できる態勢にしていきたいです。どうぞ皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

昭和39年6月3日生まれ（61歳）
高静小学校、静内中学校、静内高校、東京大学工学部卒業
平成元年4月 北海道拓殖銀行入行
平成10年2月 民主党事務局入職（政策調査会、国会対策委員会、競馬産業問題研究会事務局）
令和2年9月 立憲民主党事務局入職（国会対策委員会部長、総務局部長）
令和8年4月 新ひだか町長就任

大滝町長初登庁 職員へ訓示

4月23日／役場静内庁舎



大滝町長は、役場静内庁舎に初登庁し、3階議場で就任のあいさつを行いました。

大滝町長は職員に対し、「役場は行政サービスを提供するサービス業であるという意識を強く持つこと」、「情報アンテナを常に張り、情報収集をしていくこと」、「コンプライアンス・法令順守の徹底」の3点を意識するよう訓示しました。行政サービスの提供にあたっては、「明るいあいさつと丁寧な対応を心掛け、町民に親しまれる役場を目指してほしい」と呼びかけました。

第3回新ひだか町議会臨時会が5月8日(金)に開会され、正副議長選挙で議長と副議長が選出されました。



副議長
建 部 和 代



議 長
川 端 克 美